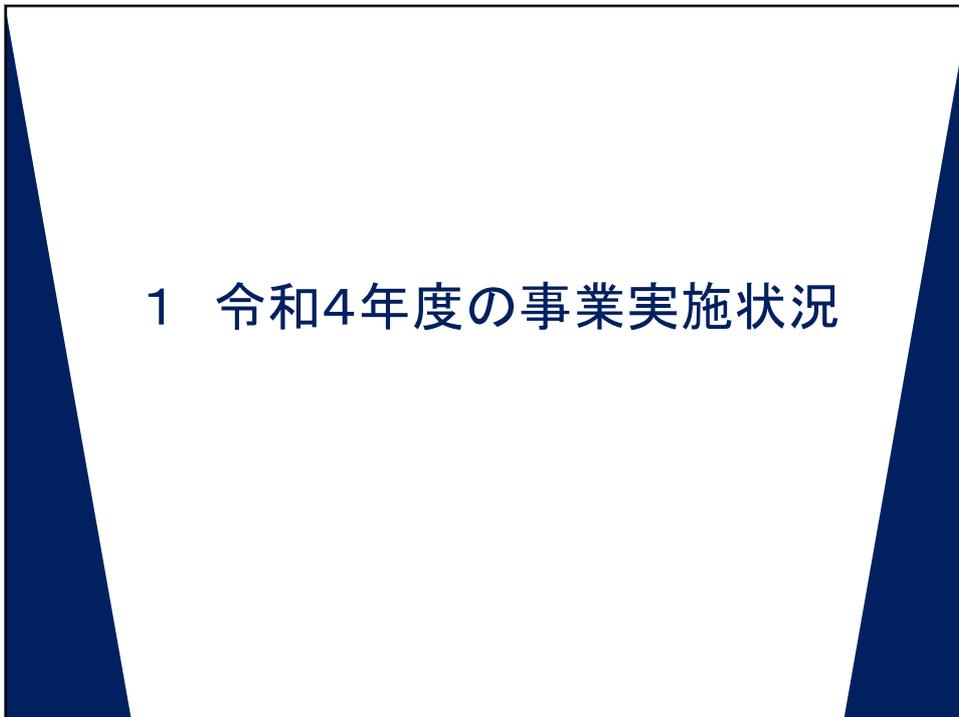


1



2

令和4年度の佐賀城本丸歴史館の主な事業

- テーマ展「鍋島家と禅僧たち さが名僧伝」
令和4年4月22日～6月12日
 - テーマ展「生誕200年 枝吉神陽」
令和4年7月29日～9月19日
 - 特別展「生誕200年 島義勇」
令和4年10月7日～12月11日
 - テーマ展「御家交代の実像」
令和5年1月20日～3月12日
- 佐賀城本丸クラシックスの刊行 『大木喬任伝記資料談話筆記』
- 季節ごとのイベント

【3頁】

3

展覧会(令和4年度)

No	会期	会場	展覧会名	内容	観覧者数 (入館者数)
(1)	2022年 4月22日 ～6月12日 【52日間】	御小書院 (特別展示 室)	【テーマ展】 鍋島家と禅僧たち さが名僧伝	鍋島直茂、勝茂を助けた是琢明琳と閑 室元佑という2人の禅僧の働きを紐解き、 外交から領地運営にわたる多様な活躍 を紹介した。	8,678人 (13,480人)
(2)	2022年 7月29日 ～9月19日 【53日間】	御小書院 (特別展示 室)	【テーマ展】 「生誕200年枝吉神 陽」	初公開となる枝吉家資料を中心に枝吉 神陽を育てた家族や藩士としての活動、 思想について紹介した。	8,764人 (13,602人)
(3)	2022年 10月7日 ～12月11日 【66日間】	御小書院 (特別展示 室)・外御 書院四之 間	【特別展】 「生誕200年島義勇」	島の生誕200年を記念し、青年時代の 学びや名士たちとの交流、明治維新前 後の活躍に焦点を当て、デジタルコンテ ンツ、グラフィックなどにより紹介した。	14,934人 (24,727人)
(4)	2023年 1月20日 ～3月12日 【52日間】	御小書院 (特別展示 室)	【テーマ展】 「御家交代の実像」 (共催:佐賀県立函 書館)	戦国大名龍造寺氏から佐賀藩主鍋島氏 への佐賀を治めた御家の交代がどのよ うに行われたのか古文書等からたどり、 鍋島猫騷動等の虚像との違いを紹介し た。	4,352人 (6,253人) ※2月10日時点

【4頁】

4

テーマ展 鍋島家と禅僧たち さが名僧伝



**鍋島家と
禅僧たち**
さが名僧伝

令和4年
4/22 金 - **6/12** 日
開館時間 9:30 - 18:00
佐賀県立佐賀城本丸歴史館
特別展示室(御小書院)
観覧料無料

佐賀県立佐賀城本丸歴史館 佐賀市城内2-18-1
TEL:0952-41-7950 FAX:0952-28-0220

佐賀城本丸歴史館 テーマ展「鍋島家と禅僧たち さが名僧伝」
期日：令和4年(2022)年4月22日(金)～6月12日(日) / 休館日：令和4年(2022)年5月1日(祝日) / 観覧料：無料

No.	書名	著者	刊行	種別	冊数	備考
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50

【5頁】

5

テーマ展 生誕200年 枝吉神陽



枝吉神陽

令和4年
7/29 金 - **9/19** 月・祝
開館時間 9:30 - 18:00
佐賀県立佐賀城本丸歴史館
特別展示室(御小書院)
観覧料無料

佐賀県立佐賀城本丸歴史館 佐賀市城内2-18-1
TEL:0952-41-7950 FAX:0952-28-0220

枝吉神陽 生誕200年

No.	書名	著者	刊行	種別	冊数	備考
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50

【6頁】

6

特別展 生誕200年島義勇

◆島義勇の生涯・島義勇が歩いた蝦夷地のグラフィック展示、アイヌ文化紹介映像等



【9頁】

9

特別展 生誕200年島義勇

◆重要文化財を含む貴重な資料約40点(前・後期合わせて)



御小書院の展示風景



島義勇念持仏・妙見菩薩像
(札幌本龍寺蔵)



【重要文化財】大久保利通宛島義勇書翰
(国立歴史民俗博物館蔵)

【10頁】

10

特別展 生誕200年島義勇 関連イベント				
No	月日	イベント名	会場	参加人数
1	10月7日(金)	開会式	外御書院	33人
2	①10月9日(日) ②10月10日(月祝)	アイヌ文様の缶バッジづくりワークショップ	外御書院	322人
3	①11月5日(土) ②11月6日(日)	ムックリ演奏・鑑賞体験	外御書院	演奏会124人/ ムックリ体験82人
4	①11月12日(土) ②11月13日(日)	尾崎人形 アイヌ文様の絵付け体験	外御書院	81人
5	10月15日(土)	第204回歴史館セミナー 「島義勇の明治維新」 芳野貞典(本館学芸員)	外御書院	97人
6	11月19日(土)	記念講演会 「臺北の志士・松浦武四郎と島義勇」 三浦泰之氏(北海道博物館学芸員)	外御書院	103人
7	12月3日(土)	第204回歴史館セミナー 「島義勇が見た蝦夷地、そして日本」 藤井祐介(本館学芸員)	外御書院	87人
8	会期中	アイヌ文化・工芸品紹介コーナー	屯之間	—
9	会期中	限定クイズラリー	受付	1,135人

【11頁】

11

特別展 生誕200年島義勇 関連イベント	
	
オープニングセレモニー	缶バッジづくりワークショップ
	
ムックリ演奏鑑賞体験	尾崎人形アイヌ文様絵付け体験

【12頁】

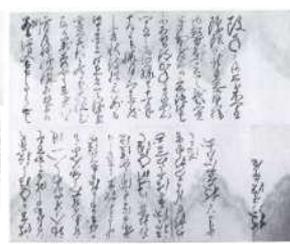
12

資料収集(令和4年度)

寄贈	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 中川藤次郎コレクション 150点 佐賀藩士中川義純の子息明治帝国海軍大佐中川藤次郎に関する資料。 他3件 16点 <p style="text-align: right;">合計 4件 166点</p>
購入	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 江藤新平書簡 1点 380,000円 明治2年に鍋島直大のもと藩政改革を託されて佐賀へ帰郷する際の心境を記した貴重な資料。 ➢ 木原家文書(島義勇書簡他) 5点 955,000円 当館が平成25年に購入した「木原家文書」から分離した残り5点。 <p style="text-align: right;">合計 2件 6点</p>



江藤新平書簡

木原家文書
明治6年島義勇書簡木原家文書
副島種臣宛枝吉南濠書簡

【13頁】

13

調査研究(令和4年度)

研究紀要刊行

佐賀県立佐賀城本丸歴史館 研究紀要 第18号
令和5年3月刊行予定

- 中尾健一郎【寄稿】「佐賀藩の馬術師・倉永辰芳の事蹟」
- 野下俊樹「室町・戦国期肥前龍造寺氏に関する予備的考察」
- 芳野貴典「明治元年における島義勇の政見—徳川氏処分と東京遷都を中心に—」
- 藤井祐介「高輪築堤にみる大隈重信と明治の政局」
- 立島敦子「万寿寺蔵神子栄尊像について—企画展「鍋島家と禅僧たち さが名僧伝」によせて—」
- 野下俊樹
【史料紹介】「中島吉郎「神陽先生贈位奉告祭席末所感」—明治期、枝吉神陽の顕彰—」
- 齋藤洋子・星原大輔
【史料翻刻】「江藤新作関係文書」(江藤兵部氏所蔵資料(於川浪氏宅撮影))(七)

【14頁】

14

調査研究(令和4年度)

その他の研究活動、委員派遣、支援・協力等

七田忠昭

- ゆめさが大学(佐賀校・唐津校・鹿島校・鳥栖校)講師
- 吉野ヶ里遺跡弥生時代調査指導委員会委員長
- 吉野ヶ里遺跡古代調査指導委員会委員長
- 神崎市 歴史まちづくり遺産審議委員会 委員長
- 神崎市文化財保護審議会委員
- 唐津市文化財保護審議会委員
- 唐津市末盧国遺跡群調査指導委員会委員
- 「弥生時代集落論の一視点」『弥生文化博物館研究紀要』第8号 大阪府立弥生文化博物館
- 吉野ヶ里遺跡発掘再開イベントにて井浦新氏との対談(県文化財保護室主催)

古川英文

- 相良知安文書会読会への参画
- 佐賀県文化課主催「郷土の誇りを“未来”にコンクール」審査員
- 上峰町ふれ愛・絆いきセミナー&女性セミナー「枝吉神陽伝説」講演
- 楠公祭「佐賀城本丸クラシックスについて」講演
- 佐野常民記念館「忠愛の書」講演
- 佐賀新聞社ランチ佐賀「地方の出版とグローバリズム」講演
- 赤松公民館「島義勇入北記」講演
- 東京国立博物館・台東区書道博物館開催「王羲之と蘭亭叙」展への企画応談

【15頁】

15

調査研究(令和4年度)

その他の研究活動、委員派遣、支援・協力等

竹下正博

- 三重津海軍所跡保存整備指導委員会オブザーバー【佐賀市(三重津世界遺産課)】
- 小城市文化財保護審議会委員
- 神崎市文化財保護審議会委員
- 嬉野市史編集委員会専門員
- 大分市元町石仏保存整備委員会委員
- 鹿児島県文化財指定に関する指導・助言
- ゆめさが大学(佐賀校・唐津校・鳥栖校)講師

藤井祐介

- 【著書】岩下哲典・藤村泰夫編『見る・知る・考える 明治日本の産業革命遺産』(勉誠出版、2022年12月)
「三重津海軍所跡」執筆
- 【寄稿】「高輪築堤を佐賀で再現展示、大隈重信の『志』に触れる」『美術の窓』(生活の友社、2022年7月)
- 【寄稿】「日本・九州の鉄道黎明期」『Please』佐賀・長崎デスティネーションキャンペーン特別号(JR九州、2022年10月)
- 【研究発表】「2代佐賀藩主鍋島光茂の政治課題とその克服」(九州史学研究会近世史部会、オンライン、2022年5月22日)
- 【歴史考証支援】県民だより「生誕200年 三英傑伝」(広報広聴課)
- 佐賀市「さがの偉人生誕200年記念シンポジウム」パネリスト(アバンセ、2022年11月23日)
- 佐賀県「歴史の道」調査事業調査指導員会議オブザーバー(文化財保護室)
- 放送大学非常勤講師(面接授業「武士の生き方、『葉隠』の世界」)

【16頁】

16

調査研究(令和4年度)

その他の研究活動、委員派遣、支援・協力等

立島敦子

- 科学研究費「仏教儀礼的観点に基づく明兆作品の総合的研究」(2020年から5年間)研究協力者
- (公財)出光文化福祉財団研究助成「起立工商会社と佐賀藩人脈－欧米美術館における日本古美術コレクション形成史の水脈」継続中
- 大分市美術館における大分市美術展審査員(工芸・デザイン)
- 東京造形芸術大学 博物館資料論 外部講師(2022年11月30日)

芳野貴典

- 【寄稿】『草場佩川日記』にみる儒者の子育て』『鶴山書院報』第12号(公益財団法人孔子の里、2022年10月1日発行)
- 【寄稿】『鍋島直正、オランダ船に乗る』『龍馬タイムズ』第142号(東京龍馬会、2022年10月1日発行)
- 【講演】『陸蒸気を海に通せ！—大隈重信と日本の鉄道開業—』(日比谷図書文化館特別研究室、企画展示関連講座「古書で紐解く近現代史セミナー」第42回、2022年12月11日)

野下俊樹

- 【研究発表】公益財団法人鍋島報効会令和3年度研究助成研究報告会(2022年6月19日)
野下俊樹ほか4名「中世後期有明海沿岸地域の学際的研究-佐賀平野の構造的特質-」
- 佐賀市「さかの偉人生誕200年記念シンポジウム」パネリスト(アバンセ、2022年11月23日)

【17頁】

17

ゴールデンウィークイベント(令和4年度)

No	月日	イベント名	会場	参加人数
1	4月29日(金・祝)・5月3日(火・祝)	こいのぼり壁飾りづくり	外御書院	223人
2	4月30日(土)	昔風写真撮影体験	外御書院	100組
3	5月5日(木・祝)～5月7日(土)	巨大すごろく	外御書院	121人
7	4月29日(金・祝)～5月8日(日)	昔遊びコーナー	外御書院	—

こいのぼりの壁飾りづくり



昔風写真体験



巨大すごろく



昔遊びコーナー

【18頁】

18

夏休みイベント(令和4年度)

No	月日	イベント名	会場	参加人数
1	7月23日(土) 8月11日(木・祝)	巨大すごろくゲーム ～指令をクリアしてお宝を目指せ!～	館内	77人
2	8月6日(土) 8月13日(土)	かざぐるまづくりワークショップ	二之間・三之間	202人
3	8月1日(日)	開館記念カノン砲祝砲イベント	館外	150人
4	7月23日(土)～8月14日(日)	昔遊びコーナー	四之間	—
5	7月23日(土)～8月31日(水)	風鈴飾り	御玄関	—
6	7月23日(土)～8月31日(水)	うちわ絵展示	北廊下	—
7	7月23日(土)～8月31日(水)	夏限定クイズラリー ～佐賀藩の秘密を調査せよ～	館内	—

巨大すごろくゲーム



かざぐるまづくりワークショップ



カノン砲祝砲



うちわ絵展示



【19頁】

19

お正月イベント(令和4年度)

No	月日	イベント名	会場	参加人数
1	1月2日(月・休日)	書初め体験	館外	379人
2	1月2日(月・休日)	凧づくり体験	館外	140人
3	1月2日(月・休日)	大筆書き	館外	—
4	1月2日(月・休日)	ずぼんぼづくりワークショップ	外御書院	113人
5	1月3日(火)	赤ちゃん手形・足形プラ板キーホルダー づくり	外御書院	102人



書初め体験



大筆書き



凧づくり体験

赤ちゃんプラ板キーホルダー

【20頁】

20

ひなまつりイベント(令和4年度)

No	月日	イベント名	会場	参加人数
1	2月23日(木・祝)・2月25日(土)	むすびびなづくりワークショップ	御座間・堪忍所	92人
2	3月4日(土)	子ども着付体験	御座間・堪忍所	12組(予定)
3	3月4日(土)	和装でおもてなし	御玄関・館内	—
4	3月11日(土)	なぞときゲーム「本丸からの挑戦状」	館内・館外	18組(予定)
5	2月17日(金)～3月12日(日)	おひなさまフォトスポット	二之間	(常設)
6	2月17日(金)～3月12日(日)	子どもひなの宴	外御書院	(公開)
7	2月17日(金)～3月12日(日)	特別展示 「150年目の里帰り 鍋島家のひな人形」	東廊下	(公開)
8	2月26日(日)	からくり人形実演会	一之間	150人



むすびびなづくり
ワークショップ



おひなさま
フォトスポット



子どもひなの宴



【21頁】

21

歴史館ゼミナール(令和4年度)

No	月日	講師(敬称略)及び演題	聴講者数
207	4月23日(土)	立島敦子(佐賀城本丸歴史館 学芸員) さがの名僧たち	68人
208	5月28日(土)	伊藤幸司(九州大学 教授) 秀吉・家康時代のアジア外交を支えた肥前の名僧	83人
209	6月11日(土)	吉野浩司(鎮西学院大学 教授) 高田保馬にとっての肥前三日月村—自伝『私の追憶』を読む	91人
210	7月30日(土)	星原大輔(公益財団法人大倉精神文化研究所研究部長) 佐賀城本丸クラシックス2出版記念講演会/「江藤新平関係書翰」を読む	94人
211	8月27日(土)	野下俊樹(佐賀城本丸歴史館 学芸員) 幕末のカリスマ 枝吉神陽の足跡	86人
212	9月10日(土)	峯田元治・前田達男(鉄砲史研究会) 幕末佐賀藩の大砲づくり	110人
213	10月15日(土)	芳野貴典(佐賀城本丸歴史館 学芸員) 島義勇の明治維新	97人
214	11月19日(土)	三浦泰之(北海道博物館 学芸員) 臺北の志士・松浦武四郎と島義勇	103人
215	12月3日(土)	藤井祐介(佐賀城本丸歴史館 学芸担当係長) 島義勇が見た蝦夷地、そして日本	87人
216	1月21日(土)	阿部大地(佐賀県立図書館 主事)・野下俊樹(佐賀城本丸歴史館 学芸員) 龍造寺から鍋島へ 御家交代の虚実	114人
217	2月11日(土)	高野信治(九州大学 名誉教授) 鍋島猫騷動—御家交代の物語化と怪異性—	128人
218	3月18日(土)	竹下正博(佐賀城本丸歴史館 企画学芸課長) 本物を味わう—絵図と甲冑をみる・ふれる—	80人 (予定)
			(計) 1141人

※新型コロナウイルス対策のため指定席/事前予約制(定員4～6月は96名、7～12月は120名、1～2月128名、3月80名)

【22頁】

22

出前講座(令和4年度-1)

※庁内研修会を含む。

No	月日	主催者・会場・講座名等	派遣	演題	人数
1	5月25日(水)	楠公祭社/楠神社	古川	佐賀城本丸クラシックス出版事業について	20人
2	6月8日(土)	佐賀県民環境部まなび課/旧自治会館/弘道館2-藩校しようぜ-勉強会	藤井	藩校弘道館-設立、不振、そして直正の改革-	8人
3	6月14日(土)	佐賀県長寿社会振興財団/アバンセ/ゆめさが大学	竹下	佐賀城下の甲冑師 宮田	73人
4	6月15日(水)	佐賀県長寿社会振興財団/アバンセ/ゆめさが大学	野下	龍造寺氏の歴史	62人
5	6月21日(火)	都市美会事務局/佐賀市立図書館	芳野	陸蒸気を海に通せ-大隈重信と日本初の鉄道開業-	25人
6	6月23日(木)	佐賀県長寿社会振興財団/鳥栖市社会福祉会館/ゆめさが大学	竹下	佐賀城下の甲冑師 宮田	53人
7	6月23日(水)	佐賀県長寿社会振興財団/りふれ研修③/ゆめさが大学	野下	龍造寺氏の歴史	18人
8	6月25日(土)	武雄歴史研究会/武雄市図書館歴史資料館	野下	龍造寺氏の歴史と佐賀	29人
9	7月12日(火)	久保泉公民館/さが学講座	七田	吉野ヶ里遺跡と邪馬台国問題	25人
10	7月13日(水)	日本機械学会/アバンセ/第26回動力・エネルギー技術シンポジウム特別講演会	藤井	幕末佐賀藩の近代化と鍋島直正-人材の育成・登用と科学技術の卓抜-	100人

【23頁】

23

出前講座(令和4年度-2)

※庁内研修会を含む。

No	月日	主催者・会場・講座名等	派遣	演題	人数
11	8月18日(木)	邪馬台国を考える会/若楠公民館	七田	吉野ヶ里遺跡と邪馬台国問題について	10人
12	8月22日(月)	佐賀市立赤松公民館/第4回さが学講座	野下	生誕200年 枝吉神陽	30人
13	9月14日(水)	佐賀市立高木瀬公民館/大人塾(第3回)	野下	生誕200年 枝吉神陽	45人
14	9月25日(日)	文化課/国営吉野ヶ里歴史公園/吉野ヶ里遺跡発掘調査情報発信事業業務	七田	井浦新氏とのトークイベント	180人
15	9月27日(火)	佐賀市立日新公民館/日新さが学講座	竹下	佐賀城下の甲冑師 宮田	30人
16	10月4日(火)	佐賀県中学校教育研究会技術・家庭科部会/はんぎーホール/第24回佐賀県中学校技術・家庭科研究大会講演	藤井	幕末佐賀藩の近代化と鍋島直正	100人
17	10月7日(金)	全国公平委員会連合会九州支部/グランデはがくれ	七田	女王卑弥呼は九州にいたか?-吉野ヶ里遺跡と邪馬台国-	書面
18	10月12日(水)	佐賀市立開成公民館/開成さが学講座	芳野	島義勇の明治維新	15人
19	10月20日(木)	高遊外売茶翁顕彰会/肥前通仙亭/佐賀おもしろ学講座	立島	さが名僧伝	60人
20	11月2日(水)	佐賀県立金立特別支援学校高等部/佐賀城本丸歴史館/来館対応	藤井	10代藩主鍋島直正と佐賀城本丸御殿	5人
21	11月16日(水)	佐賀新聞社ランチの会/ホテルニューオータニ	古川	地方の出版とグローバリズム	30人

【24頁】

24

出前講座(令和4年度-3) ※庁内研修会を含む。					
No	月日	主催者・会場・講座名等	派遣	演題	人数
22	11月23日(水)	佐賀市地域振興部歴史・文化課/アバンセホール/さかの偉人生誕200年記念シンポジウム	藤井野下	同い年の軌跡と交差―枝吉神陽・島義勇・佐野常民―	150人
23	11月27日(日)	佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館/企画展「博愛の行方～佐野常民をつらぬくもの～」関連事業講演会	古川	「忠愛」の書	30人
24	12月11日(日)	千代田区立日比谷図書文化館/日比谷カレッジ	芳野	陸蒸気を海に通せ―大隈重信と日本初の鉄道開業―	200人
25	12月14日(水)	若楠校区八丁畷自治会/八丁畷公民館	立畠	さが名僧伝	50人
26	12月20日(火)	都市美会事務局/佐賀市立図書館	七田	吉野ヶ里遺跡と邪馬台国問題	30人
27	12月20日(日)	佐賀県長寿社会振興財団/アバンセ/ゆめさが大学	竹下	佐賀城下の甲冑師 宮田	62人
28	1月18日(水)	佐賀市社会福祉協議会/佐賀市大和老人福祉センター/大和いきがい文化講座	芳野	東京をつくった佐賀人	30名
29	1月18日(水)	大隈侯を学ぶ「まきの会」/大隈重信記念館	藤井	「高輪築堤」と大隈重信	10人
30	1月25日(水)	唐津市社会福祉協議会/唐津市相知町老人憩いの家/高齢者の生きがいと健康づくり事業	立畠	大名婚礼調度の世界 (※大雪のため中止)	人
31	1月27日(金)	唐津市社会福祉協議会/唐津市相知町老人憩いの家/高齢者の生きがいと健康づくり事業	立畠	大名婚礼調度の世界	20人
32	1月28日(土)	孔子の里/東原庫舎/多久の歴史と文化を学ぶ講座	芳野	戊辰戦争と多久	10人

【25頁】

25

出前講座(令和4年度-4) ※庁内研修会を含む。					
No	月日	主催者・会場・講座名等	派遣	演題	人数
33	3月7日(火)	佐賀市立金泉中学校/働く人に学ぶ会	芳野	働く人に聞く	30人(予定)
34	3月16日(木)	上峰町公民館/ふれ愛・絆いきセミナー	古川	「忠愛」の書―佐賀偉人伝―	30人(予定)
					(計) 1570人

【26頁】

26

「佐賀偉人伝」出版事業(令和4年度)							
出版概要	No	書名	著者名(敬称略)	初版刊行年月	発行部数 (販売分)	販売部数計 (R4年1月末まで)	令和4年度販売数 (R3.4.1~R4.1.31)
	01	鍋島直正	杉谷 昭	平成22年11月刊	6,500部	6,224部	96部
	02	大隈重信	島 善高	平成23年1月刊	6,500部	5,375部	89部
	03	岡田三郎助	松本誠一	平成23年3月刊	5,000部	4,213部	135部
	04	平山醇左衛門	川副義敦	平成23年9月刊	3,500部	2,247部	30部
	05	島 義勇	榎本洋介	平成23年12月刊	5,000部	3,256部	86部
	06	大木喬任	重松 優	平成24年2月刊	3,500部	2,184部	18部
	07	江藤新平	星原大輔	平成24年9月刊	5,000部	3,315部	125部
	08	辰野金吾	清水重教・河上眞理	平成26年3月刊	3,500部	2,823部	108部
	09	佐野常民	國 雄行	平成25年3月刊	3,500部	2,490部	66部
	10	納富介次郎	三好信浩	平成25年10月刊	3,500部	1,153部	30部
	11	草場佩川	高橋博巳	平成25年12月刊	3,500部	1,338部	63部
	12	副島種臣	森田朋子・齋藤洋子	平成26年2月刊	3,500部	1,749部	67部
	13	伊東玄朴	青木歳幸	平成26年11月刊	3,500部	1,131部	29部
	14	枝吉神陽	大園隆二郎	平成27年1月刊	3,500部	1,212部	54部
	15	古賀穀堂	生馬寛信	平成27年3月刊	3,500部	1,169部	40部
				63,000部	39,879部	1,036部	
促進販売	<ul style="list-style-type: none"> 雑誌広告 全巻購入者に、全巻収納用ケースの製作と贈呈。 講演会等の開催。 						【27頁】

27

「佐賀県人名辞典」出版事業(令和4年度)										
目的	<p>「佐賀偉人伝」の普及推進の一環として、より多くの人物に対する関心や調査に応えるために、古代から近代の佐賀県ゆかりの人物についての基本情報を収録した「佐賀県人名辞典」を出版する。</p> <p>「佐賀偉人伝」の補完的な役割を担わせ、幕末明治期の枠に収まらず、より多くの人物についての情報を提供することを目的とする。</p>									
内容	<ul style="list-style-type: none"> 電子書籍での出版。 期間において紙媒体出版(研究者や有識者の指摘を受けた上で)。 体裁:A5判・566頁・上製・函入(予定) 収録人数:令和4年度中に人物項目約50を公開する予定(進度に応じて段階的にWEB公開する。) 委員会による人物選定作業の過程で人名リスト、コラム等を含む規模拡大 内容:人物情報、参考文献、肖像写真 読者対象:高校生以上 									
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
4月		編集委員会				475人分をHPアップ		54人分をHPアップ	41人分をHPアップ	約20人分をHPアップ(予定)
5月	編集委員会		編集委員会							
6月		編集委員会								
7月		編集委員会		編集委員会		編集委員会				編集委員会(予定)
8月			編集委員会							
9月	編集委員会									
10月					編集委員会					
11月	編集委員会		編集委員会							
12月			編集開始							
1月	編集委員会	編集委員会	校正作業開始							
2月				編集委員会						
3月	編集委員会	原稿1部入手		371人分をHPアップ	編集委員会	編集委員会			編集委員会(予定)	編集委員会(予定)
										【28頁】

28

「佐賀城本丸クラシックス」出版事業(令和4年度)

- 目的** 明治維新150年事業によって佐賀の偉人たちへの関心が高まるなか、七賢人を中心とした人物たちの一次的な資料(日記、書簡、談話など)を出版することによって、より深い関心と研究を醸成し、維新博レガシー継承事業としての役割を果たしていく。さらに本丸歴史館の偉人顕彰という役割の一端を担っていく。
- 必要性** 薩長土をはじめとした幕末明治の一次資料(日記、談話、全集など)の出版物の多さに比して、佐賀藩に関するものはなほ不足しているのが実情である。長期的視野で佐賀の幕末維新の認知を高めるためには、基礎文献を整備することで広く普及を担う人々(作家や研究者、メディア関係)への材料提供は欠くことはできない。
- 内容**
- 紙媒体出版(R2以降)
 - 体裁:菊判(221×152mm)・300頁～500頁内外・上製本・貼函
 - 想定読者:作家、研究者、メディア関係等
- 実績**
- R2年度 佐賀城本丸クラシックス1「島義勇入北記」 令和3年3月7日(日)発刊
 R3年度 佐賀城本丸クラシックス2「江藤新平関係書翰」 令和4年3月30日(水)発刊
 R4年度 佐賀城本丸クラシックス3「大木喬任伝記資料談話筆記」 令和5年3月発刊予定

計画

R2年度以降

右記のようなラインナップで年度毎に1冊の出版を計画する。(R5年度は発刊無)

R2年度 第1巻 島義勇入北記(R3.3.7発刊済)
 R3年度 第2巻 江藤新平関係書翰(R4.4.7発刊済)
 R4年度 第3巻 大木喬任伝記資料談話筆記(R5.3月発刊)
 R6年度 第4巻 相良知安関係文書

【29頁】

29

共催事業・博学連携等(令和4年度)

No	活動項目	活動内容
1	インターンシップ(就業体験)受入	佐賀市立東与賀中学校2年生2名 (佐賀市立城北中学校2年生4名はコロナで中止) 佐賀市立成章中学校2年生5名 佐賀大学教育学部付属中学校2年生4名 佐賀商業高校2年生2名
2	赤松コミュニティスクール事業への参画	佐賀市立赤松小学校コミュニティ・スクール「しゃちの門コミュニティ」2回と「本丸歴史クラブ」活動(年6回)への支援
3	学校の教育活動の支援	副読本「わたしたちの佐賀県」改定に際しての支援
4	子どもびなの宴	佐賀市内の小・中学生が作成したひな人形を、佐賀城本丸歴史館の外御書院に展示する。令和4年度は第9回目であり、2月17日～3月12日に実施。小学校22校、中学校2校(1519名)参加。

【30頁】

30

その他の教育普及活動(令和4年度)

No	活動項目	活動内容
1	生花展示	御座間の1年間の生け花を佐賀県華道連合会に委託している。来館者の方からの評判もよい。
2	子ども着付体験	毎月第1土曜日に実施している。令和4年度は新型コロナウイルス感染状況を見て4月、6月、10月～12月のみ実施し125人が参加。
3	紙芝居	小学校等来館時に希望に応じて、また、夏休み期間中に子どもを対象に佐賀城本丸ボランティアが紙芝居を実施し、楽しく佐賀の歴史を学んでもらう。令和4年度実施なし。
4	お城たんけんクイズラリー	子どもを対象に常時実施している。小学生低学年用と高学年用に2種類の問題を用意している。また、夏休み期間中や特別展開催中は、関連した特別バージョンのクイズラリーを実施している。

【31頁】

31

佐賀城本丸ボランティア(令和4年度)

- 1 佐賀城本丸 ボランティア
 - 登録人数
66名(令和5年2月10日現在)
 - 主な活動内容
 - ア 展示資料、復元建物、周辺史跡等の案内
 - イ 各種イベント等補助
 - ウ 館に対する意見及び提案
 - エ お世話係会(月1回)
- 2 各ボランティア団体との連携
 - 佐賀県観光ボランティアガイド連絡協議会総会(7月/名護屋城博物館)
 - 佐賀県観光ボランティアガイド連絡協議会研修会(11月/嬉野市塩田町)
 - 九州観光ボランティアガイド研修会(2月/長崎県佐世保市)
- 3 その他活動
 - 佐賀城石垣周辺の清掃活動(7月、10月) ※中止
 - ボランティア自主企画により作成した紙芝居の実施(夏休み期間中や小学校の利用時等に上演) ※中止
 - 手作りプレゼント(GW/開館記念日)

【32頁】

32

施設貸出(令和4年度)

行事名	月日あるいは期間	場所	主催者
幕末維新 佐賀の八賢人おもてなし隊歴史寸劇	令和4年4月3日～令和4年9月25日の 毎週日曜日	外御書院 御座間	一般社団法人 魅力発掘プロデュース協会
令和4年度県政功労者知事表彰式及び 令和4年春の叙勲伝達式	令和4年5月9日	外御書院	佐賀県政策部秘書課
江上八院の戦いー鍋島直茂 VS 立花宗茂ー	令和4年5月29日	外御書院	佐賀戦国研究会 代表 深川直也
古儀数内流・鍋島家ゆかりの会文化奨励賞授与 式・記念茶会	令和4年6月5日	外御書院	鍋島家ゆかりの会
第21回公益財団法人鍋島報効会研究助成 研 究報告会	令和4年6月19日	外御書院	公益財団法人鍋島報効会
戦国島津氏の九州北部進出と龍造寺氏	令和4年7月3日	外御書院	佐賀戦国研究会 代表 深川直也
薩長土肥連携青少年交流事業	令和4年10月8日	外御書院	薩長土肥同盟推進協議会佐賀県事務局
幕末維新 佐賀の八賢人おもてなし隊歴史寸劇	令和4年10月2日～令和5年3月26日の 毎週日曜日	外御書院 御座間	一般社団法人 魅力発掘プロデュース協会
佐賀の竹アート・オブジェ展示会	令和4年10月20日～22日	外御書院	焼竹工房 代表 吉岡洋子
イタリアブーリア州からの訪問に係る歓迎セレモ ニー	令和4年10月24日	外御書院	公益財団法人佐賀県市町村振興協会
令和4年秋の叙勲・褒章伝達式	令和4年11月21日	外御書院	佐賀県政策部秘書課
佐賀市伝統文化茶道および こどもお筆こども教室発表会	令和4年12月16日～令和4年12月17日	外御書院	茶道文化こども教室
佐賀県庁仕事始め式	令和5年1月3日～4日	外御書院	佐賀県政策部秘書課
初生け会	令和5年1月7日～令和5年1月9日	外御書院	池坊佐賀市連合会
令和4年度 新春百人一首カルタ会	令和5年1月10日	外御書院	佐賀県立佐賀西高等学校
第6回佐賀さいこう！企画甲子園 企画コンテスト	令和5年1月28日～29日	外御書院	佐賀県地域交流部さが創生推進課
展覧会特別講談「怪談・鍋島猫騒動」	令和5年2月4日～5日	外御書院	佐賀県立図書館

【33頁】

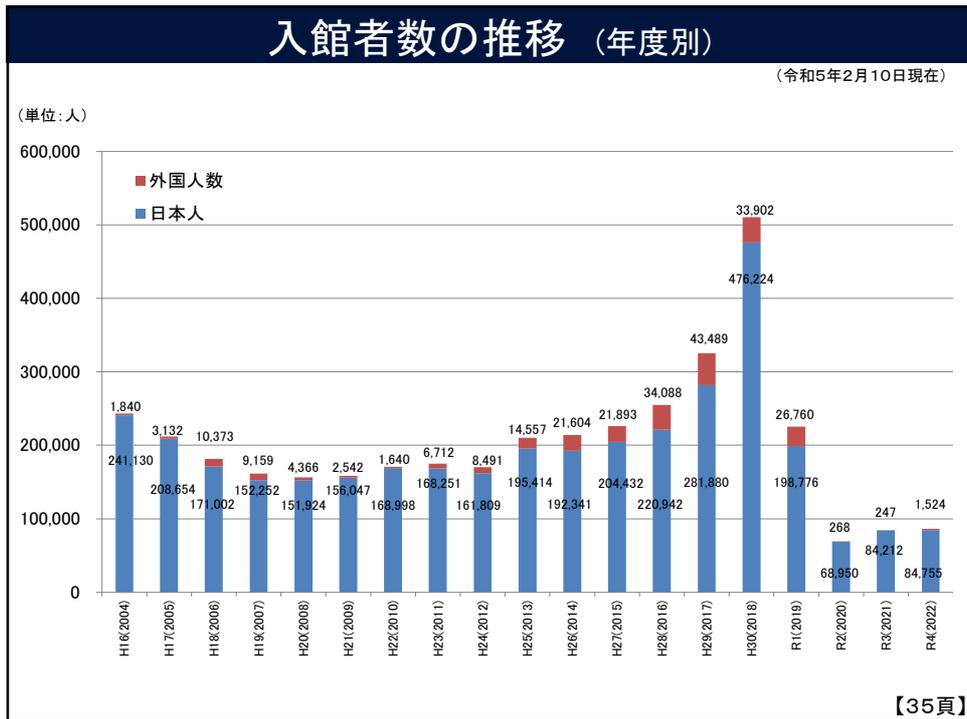
33

入館者状況(年度別)

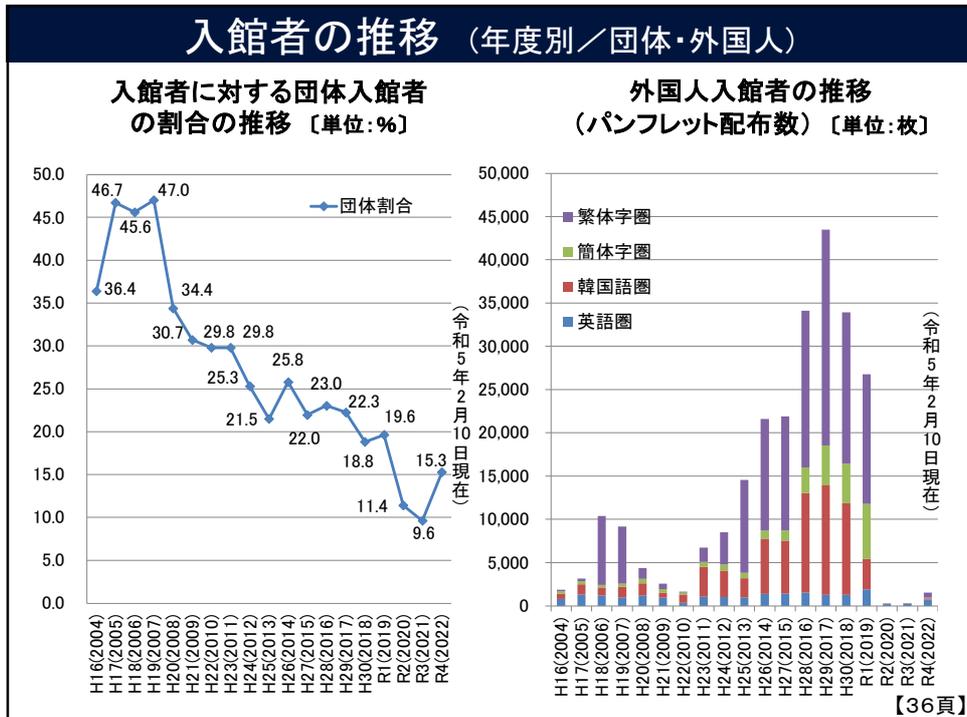
年度	入館者数 ①	開館日数 ②	1日平均 ①/②	団体客数 ③	③/① *100	団体数 ④	1団体平均 ③/④	英語圏	韓国語 圏	簡体字 圏	繁体字 圏	外国人数 ⑤	⑤/① *100
H16/2004	242,970	240	1012.4	88,368	36.4	2,873	30.8	774	657	225	184	1,840	0.8
H17/2005	211,786	355	596.6	98,972	46.7	3,294	30.0	1,305	1,171	362	294	3,132	1.5
H18/2006	181,375	355	510.9	82,650	45.6	2,671	30.9	1,175	939	311	7,948	10,373	5.7
H19/2007	161,411	358	450.9	75,795	47.0	2,511	30.2	985	1,222	341	6,611	9,159	5.7
H20/2008	156,290	357	437.8	53,819	34.4	1,913	28.1	1,195	1,385	545	1,241	4,366	2.8
H21/2009	158,589	357	444.2	48,663	30.7	1,665	29.2	942	601	373	626	2,542	1.6
H22/2010	170,638	357	478.0	50,930	29.8	1,722	29.6	328	980	200	132	1,640	1.0
H23/2011	174,963	360	486.0	52,067	29.8	1,738	30.0	1,045	3,473	533	1,661	6,712	3.8
H24/2012	170,300	348	489.4	43,052	25.3	1,442	29.9	1,012	3,043	712	3,724	8,491	5.0
H25/2013	209,971	357	588.2	45,047	21.5	1,644	27.4	976	2,222	619	10,740	14,557	6.9
H26/2014	213,945	362	591.0	55,134	25.8	1,984	27.8	1,373	6,399	921	12,911	21,604	10.1
H27/2015	226,325	357	634.0	49,718	22.0	1,861	26.7	1,419	6,110	1,194	13,170	21,893	9.7
H28/2016	255,030	326	686.7	58,755	23.0	2,194	26.8	1,533	11,512	2,958	18,085	34,088	13.4
H29/2017	325,369	362	898.8	72,409	22.3	2,611	27.7	1,254	12,662	4,619	24,954	43,489	13.4
H30/2018	510,126	362	1409.2	95,949	18.8	2,555	37.6	1,276	10,590	4,581	17,455	33,902	6.6
R1/2019	225,536	357	631.8	44,285	19.6	1,668	26.5	1,893	3,534	6,342	14,991	26,760	11.9
R2/2020	69,218	341	203.0	7,900	11.4	218	36.2	212	8	44	4	268	0.4
R3/2021	84,459	360	234.6	8,119	9.6	253	32.1	221	7	16	3	247	0.3
R4/2022	86,279	311	277.4	13,166	15.3	487	27.0	722	137	90	575	1,524	1.8
計	3,834,580	6,582	582.6	1,044,798	27.2	35,304	29.6	19,640	66,652	24,986	135,309	246,587	6.4

【34頁】

34



35



36

入館者状況 (令和4年度 月別)													
(令和5年2月10日現在)													
月	入館者数 ①	開館日数 ②	1日平均 ①/②	団体客数 ③	③/① *100	団体数 ④	③/④	英語圏 圏	韓国語 圏	簡体字 圏	繁体字 圏	外国人数 ⑤	⑤/① *100
R4年4月	6,772	30	225.7	184	2.7	12	25.2	27	4	0	0	31	0.5
R4年5月	8,837	31	285.1	621	7.0	28	27.5	40	0	2	0	42	0.5
R4年6月	5,211	30	173.7	546	10.5	25	29.7	40	2	0	0	42	0.8
R4年7月	6,845	31	220.8	970	14.2	36	25.3	75	0	1	2	78	1.1
R4年8月	8,418	31	271.5	444	5.3	26	27.9	45	0	6	0	51	0.6
R4年9月	7,873	29	271.5	1,855	23.6	52	27.4	30	0	0	3	33	0.4
R4年10月	11,267	31	363.5	2,499	22.2	73	34.2	77	6	12	7	102	0.9
R4年11月	10,979	30	366.0	2,058	18.7	92	22.4	105	24	20	137	286	2.6
R4年12月	8,816	28	314.9	2,656	30.1	90	29.5	184	39	24	22	269	3.1
R5年1月	8,356	30	278.5	967	11.6	34	28.4	71	53	22	197	343	4.1
R5年2月	2,905	10	290.5	366	12.6	19	19.3	28	9	3	207	247	8.5
計	86,279	311	277.4	13,166	15.3	487	27.0	722	137	90	575	1,524	1.8

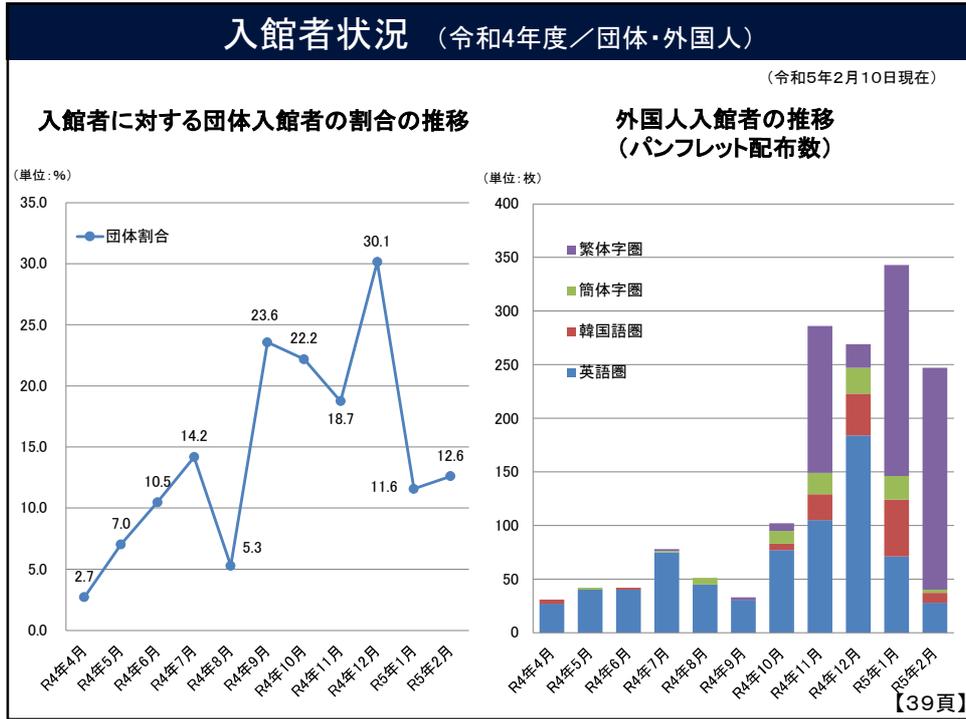
【37頁】

37



【38頁】

38



39

令和4年度最終予算(1/3)

行政的経費			
事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館管理運営費	佐賀城本丸歴史館運営費	4,298千円	館の運営に要する経費 ○会議及び研修等職員旅費 ○博物館協会負担金 ○運営協議会開催費 ○外国語(中国語・韓国語)によるおもてなしに係る経費 等
	佐賀城本丸歴史館維持管理費	69,723千円	館の維持管理経費 ○修繕費 ○光熱水費 ○運営に係る各種委託料 等
佐賀城本丸歴史館資料整備諸費	佐賀城本丸歴史館資料整備諸費	2,390千円	資料の収集及び保管、公開に要する経費 ○資料の寄贈・寄託受入れに伴う経費 ○資料の保存に要する経費 ○博物館収蔵品管理システムの導入・運営経費 等
佐賀城本丸歴史館研究活動費	佐賀城本丸歴史館研究活動費	635千円	館の展示や教育普及、資料収集保存の活動の基盤とするために調査研究活動を実施する ○基本文献の収集や資料所在調査にかかる経費 等
佐賀城本丸歴史館常設展示費	佐賀城本丸歴史館常設展示費	1,409千円	常設展示に要する経費
		78,455千円	【対前年度比114.2%】

【40頁】

40

令和4年度最終予算(2/3)

政策的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館教育普及費	佐賀城本丸歴史館教育普及活動費	2,497千円	教育普及啓発事業に要する経費 ○イベント開催に係る経費 ○歴ゼミ講師謝金 等
	佐賀城本丸歴史館ボランティア活動費	1,360千円	ボランティアガイドに要する経費 ○ボランティア報償費 ○ボランティア保険 等
	佐賀城本丸歴史館普及啓発費	729千円	普及啓発活動費に要する経費 ○グッズ作成費 等
	文化振興基金積立金	3,598千円	文化振興基金への積立金に要する経費 ○来館者からの寄附金収入 ○図録・グッズ販売収入
	児童・生徒向け学習環境整備事業費(新型コロナ対策)	4,020千円	学習用コンテンツのウェブ上での公開、児童・生徒向けリーフレット作成に要する経費
佐賀城本丸歴史館管理運営費	佐賀城本丸歴史館広報誘客活動費	968千円	館に対する県民意識の高揚と文化観光施設として周知を図るための経費 ○館内案内や年間行事を周知するチラシ作成費 等
佐賀県人名辞典出版事業費	佐賀県人名辞典出版事業費	7,557千円	「佐賀偉人伝」、「佐賀県人名辞典」及び「佐賀城本丸クラシックス」の出版及び販売等に要する経費 ○原稿執筆、編集に要する経費 ○印刷製本に要する経費 等

【41頁】

41

令和4年度最終予算(3/3)

政策的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館施設設備整備費	佐賀城本丸歴史館施設整備費	21,355千円	館の施設整備に要する経費 ○館内照明設備改修工事 ○施設維持に要する修繕 等
佐賀城本丸歴史館企画展開催費	佐賀城本丸歴史館企画展開催費	10,594千円	特別展「生誕200年 島義勇展」開催に要する経費
		52,678千円	【対前年度比142.4%】

【42頁】

42

2 令和5年度の主な事業計画

43

展覧会(令和5年度／予定)					
No	会期	会場	展覧会名	内容	
(1)	令和5年 3月17日～ 5月14日 【59日間】	御小書院 (特別展示室)	テーマ展「梧竹の書—本 野克彦コレクション—」	令和3年度に佐賀県へ寄贈された故本野克彦氏のコレクションの中から、梧竹の書を紹介する。 ※博物館で開催される寄贈記念展「本野克彦コレクション—佐賀を集める—」のスピノフ展覧会	
(2)	令和5年 7月14日～ 9月3日 【52日間】	御小書院 (特別展示室)	テーマ展「幕末 蓮池藩 の殿様」	佐賀の支藩、蓮池藩の幕末の藩主鍋島直温、直與、直紀をとりあげる。	
(3)	令和5年 10月6日 ～令和6年 1月14日 【91日間】	御小書院 (特別展示室)	テーマ展「石川九楊賞鑑 精選 だれも知らない維 新—副島種臣書—」	書家・石川九楊氏が精選した副島種臣作品を、3期に分けて一挙公開する。 【前期】10/6(金)～11/4(土)30日間 【中期】11/8(水)～12/7(木)30日間 【後期】12/11(月)～1/14(日)31日間	
(4)	令和6年 3月15日 ～5月12日 【59日間】	御小書院 (特別展示室) ・外御書院	江藤新平没後150年記念 特別展	令和6年(2024年)に江藤新平の没後150年を迎えることを記念して、映像展示と歴史資料展示により、江藤の人となりを紹介し、功績を顕彰する。	

【44頁】

44

江藤新平没後150年記念特別展

概要

「七賢人」に名を連ねる江藤新平は、数多くの功績を挙げながらも、佐賀戦争の結果、落命した。そのことは、江藤の評価に未だ暗い影を落としている。

令和6年(2024年)は、江藤新平の没後150年を迎える。本展覧会では、江藤の功績を顕彰するとともに、佐賀戦争における思いや立場を改めて検証する。歴史資料の展示とともに映像展示を効果的に用いることで県民の郷土への愛着と誇りをより強いものとしたい。

会期 令和6年(2024年)3月15日(金)～5月12日(日)
(59日間、予定)

会場 佐賀城本丸歴史館 御小書院(特別展示室)・外御書院

主催 佐賀城本丸歴史館



【45頁】

45

展示内容(予定)

実物資料展示



江藤の功績等を紹介する3つの映像展示



- ① 佐賀藩時代の奔走
- ② 明治政府での活躍
- ③ 佐賀戦争の再評価

360° ラウンドシアター

江藤新平が自身の半生を語る演出



イメージ

【46頁】

46

ゴールデンウィークイベント(令和5年度/予定)

No	月日	イベント名	会場
1	5月3日(水・祝) 5月4日(木・祝)	ワークショップ	外御書院
2	4月29日(土・祝)	昔風写真撮影体験	外御書院
3	5月5日(木・祝)	甲冑体験	外御書院
4	5月6日(土)	子ども着物体験	外御書院
5	4月29日(土・祝)~5月7日(日)	昔遊びコーナー	外御書院



ワークショップ(内容未定)



昔風写真体験



子ども着付体験

【47頁】

47

令和5年度の予算要求状況(1/3)

行政的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館管理運営費	佐賀城本丸歴史館運営費	4,291千円	館の運営に要する経費 ○会議及び研修等職員旅費 ○博物館協会負担金 ○運営協議会開催費 ○外国語(中国語・韓国語)によるおもてなしに係る経費 等
	佐賀城本丸歴史館維持管理費	74,399千円	館の維持管理経費 ○修繕費 ○光熱水費 ○運営に係る各種委託料 等
佐賀城本丸歴史館資料整備諸費	佐賀城本丸歴史館資料整備諸費	2,646千円	資料の収集及び保管、公開に要する経費 ○資料の寄贈・寄託受入れに伴う経費 ○資料の保存に要する経費 ○博物館収蔵品管理システムの運営経費 等
佐賀城本丸歴史館研究活動費	佐賀城本丸歴史館研究活動費	1,733千円	館の展示や教育普及、資料収集保存の活動の基盤とするために調査研究活動を実施する ○基本文献の収集や資料所在調査にかかる経費 等
佐賀城本丸歴史館常設展示費	佐賀城本丸歴史館常設展示費	4,007千円	常設展示に要する経費
		87,076千円	【対前年度比116.1%】

【48頁】

48

令和5年度の予算要求状況(2/3)

政策的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館教育普及費	佐賀城本丸歴史館教育普及費	2,960千円	教育普及啓発事業に要する経費 ○イベントに係る経費 ○歴ゼミ講師謝金 等
	佐賀城本丸歴史館ボランティア活動費	2,620千円	ボランティアガイドに要する経費 ○ボランティア報償費 ○ボランティア保険 等
	佐賀城本丸歴史館普及啓発費	930千円	普及啓発活動費に要する経費 ○グッズ作成費 等
	文化振興基金積立金	3,601千円	文化振興基金への積立金に要する経費 ○来館者からの寄附金収入 ○図録・グッズ販売収入
佐賀城本丸歴史館管理運営費	佐賀城本丸歴史館広報誘客活動費	2,208千円	館に対する県民意識の高揚と文化観光施設として周知を図るための経費 ○館内案内や年間行事を周知するチラシ作成費 等
佐賀県人名辞典出版事業費	佐賀県人名辞典出版事業費	6,480千円	「佐賀偉人伝」、「佐賀県人名辞典」及び「佐賀城本丸クラシックス」の出版及び販売等に要する経費 ○原稿執筆、編集に要する経費 ○印刷製本に要する経費 等

【49頁】

49

令和5年度の予算要求状況(3/3)

政策的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館施設設備整備費	佐賀城本丸歴史館施設整備費	7,579千円	館の施設整備に要する経費 ○防蟻処理工事 ○施設維持に要する修繕 等
佐賀城本丸歴史館企画展開催費	佐賀城本丸歴史館企画展開催費(2023推進費)	49,722千円	江藤新平没後150年記念特別展開催に要する経費
		76,100千円	【対前年度比141.2%】

【50頁】

50